

バグダッド日誌(2月28日)

○さすが日本人?

日本隊と多国籍軍司令部との連絡調整を実施するナショナルLOのオフィス(コアリション・オペレーション部)は、パレスから50m程離れたところに位置している。そのオフィスの隣がC-9の事務室があり、朝から将官に対するブリーフィングがあるそうで忙しくしていた。

突然、米陸軍キャプテンが私に助けを求めてきた。なんでもブリーフィングをビデオ撮影したいのだがカメラが全く動かないというのである。日本人だったらソニーのビデオ・カメラに詳しいだろうと頼みにきた。

「大学時代は土木工学専攻で超低空飛行、しかもメカ音痴の私に何が出来るか?」と思いながら「見るだけ」とオフィスに入った。ソニーのビデオはVHSの古くて大きなもので、よく見ると電源が入っていなかったため、電源スイッチを押すと作動した。C9の一同が、さすがは日本人はエレクトロニクスに強いと褒めてくれる。「ただ、電源スイッチを入れただけ」で日本人の名誉を守ることができた。

5分ほどして、またカメラが不調だと、C9の大尉が頼みに来る。今度はピントが合わないとのこと...。「そんなの直せるはずが無いじゃないか?」と思いつつ、一応「格好だけ」つけて支援に駆けつけた。よく見るとズームのボタンが壊れており、レンズのフォーカスを手であわせて急場しのぐことにしたが、C9全員が大変感謝してくれた。

この一件以降、「日本人は、テクノロジーに強い」というイメージを定着させることができたが、こと私に関しては「誤った偏見」だと思う。このまま化けの皮がはげないことを祈っている。

○サージャン・メイジャーは偉大なり(Part-2)

日本隊コンテナにあるDSN(米軍電話)・[REDACTED]が復旧した。
2月3日の台風並の暴風雨による断線して以来の復旧である。

あまりにも復旧しないため、[REDACTED]はC-6(通信部)に約1か月通いづめ、美人の担当者にかかりに嫌われてしまい、私からも「復旧するまで帰ってくるな!」といわれ板挟みになっていた。

昨日のサージャン・メイジャー会議に[REDACTED]がC-6の最前任曹長に会った際、このことを告げると本日すぐに復旧した。嵐の後に、コンテナの停電を直してくれたのもサージャン・メイジャー!やはりサージャン・メイジャーは偉大なり! [REDACTED]の存在が薄くなってきた。



バスラLO日々業務報告(2月28日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢): [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集: [REDACTED] (3) 定例会議への出席: 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 指揮官会議、空路輸送等調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議、指揮官会議参加 (3) 空路輸送等調整
5 その他(備考)	